

【参考】エコオフィス認定基準・取組例

- ◇ 認定店舗・事務所の取組内容の一例です。
環境配慮活動を推進し、地域の環境にやさしい企業を目指しましょう！

認定基準項目	取組内容一例
1 廃棄物の適正処理	一般廃棄物と産業廃棄物の適正管理
2 ごみ減量の取組	
(1) 紙使用量の削減	コピー機・プリンタの用紙節約機能の活用、 (両面印刷・集約印刷、両面コピー) パソコン利用によるペーパーレス化 (電子掲示板、電子決済、FAX送受信、共有フォルダの活用)
(2) 使い捨て製品の使用削減	詰替用製品・業務用サイズ購入推進、 マイ箸・マイボトルの利用推進
(3) その他市が認める活動	社内での3010運動(※1)の実施
3 環境にやさしい調達、リユース、リサイクルの推進 ※古紙類の資源化は必須	
(1) 環境ラベル製品(※2)の購入推進	
(2) 事務用品、事務機器のリユース	片面使用済み用紙・カレンダー・ポスター・等の裏面使用、 封筒の再使用
(3) リサイクルの推進	古紙類の資源化 (オフィス町内会への加入:機密文書、雑紙、雑誌、書籍、チラシ、 新聞紙、段ボール) その他の資源化 (かん、びん、ペットボトル)
(4) その他市が認める活動	
4 地球温暖化対策、有害物質削減の取組	
(1) 日常的な省エネルギー対策	不用な照明の消灯、未使用事務機器の電源OFF、各種機器の省エネ機能の活用、冷暖房機器の清掃、スイッチ付近に節電・省エネのサイン表示、室内温度の適正化(クールビズ、ウォームビズの推進)、
(2) 省エネルギー機器の導入	LED・その他高効率照明の採用、人感センサー付照明の採用、エコシルフィーの設置、その他高効率機器の導入
(3) 自動車利用における環境配慮	次世代自動車(電気自動車、ハイブリッド車など)・低燃費車の導入、エコドライブの推進(※3)、ノーマイカー通勤の実施
(4) 節水の取組	自動手洗器の採用、擬音装置の設置、節水コマの使用、節水のサイン表示
(5) その他地球温暖化対策	太陽光発電の導入、デマンド監視装置等を利用したピークカット対策、断熱シートの活用、昼休みの事務室消灯、ノー残業デーの実施
(6) 有害物質削減の取組	農薬・化学肥料・洗剤の使用量削減、有害な化学物質の排出量削減
(7) その他市が認める活動	

項目	取組例
5 環境教育、その他環境保全活動	
(1) 従業員への環境教育	研修等の実施、省エネ・省資源行動の作成・周知、朝礼・回覧・掲示板等での意識啓発、講演会等への出席
(2) 地域での環境保全活動の実施	地域の資源回収活動への協力、 (プルトップ、ペットボトルキャップ、雑誌、新聞紙、段ボール) 取引先への働きかけ、 (アイドリングストップ、たばこのポイ捨て禁止の徹底) 地域清掃活動、環境教室の実施、緑化活動、生物多様性の保全活動
(3) 環境管理システムの導入等	ISO14001・ISO26000の認証取得、エネルギー・資源利用状況の見える化
(4) その他市が認める活動	

(※1) 3010運動

飲み会や宴会では、はじめの30分間と、おわりの10分間は席を立たずに料理を楽しんで、食べ残しを減らそうという取り組み。

(※2) 環境ラベル製品

資源採取から廃棄にわたるライフサイクルを通じて環境負荷の少ない製品。

環境ラベル製品の購入は、環境配慮型商品の開発・生産の促進、持続可能な社会の形成に寄与、SDGsの達成に貢献するものです。

(※3) エコドライブの推進 (エコドライブ普及推進協議会「エコドライブ10のすすめ」を基に作成)

<ul style="list-style-type: none"> 1 自分の燃費を把握しよう 2 ふんわりアクセル「eスタート」 3 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転 4 減速時は早めにアクセルを離そう 5 エアコンの使用は適切に 6 ムダなアイドリングはやめよう 7 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう 8 タイヤの空気圧から始める点検・整備 9 不要な荷物はおろそう 10 走行の妨げとなる駐車はやめよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・・・エコドライブ効果が実感できます。 ・・・やさしい発進で、燃費が10%改善! ・・・定速走行で市街地での燃費が2%改善! ・・・エンジンプレーキ活用で燃費が2%改善! ・・・暖房のみ必要な時はエアコン (A/C) OFF! ・・・いまの乗用車は基本的に暖機運転不要! ・・・出かける前に行先やルートをチェックしよう。 ・・・タイヤの空気圧不足は燃費悪化の原因に! ・・・車の燃費は荷物の重さにも影響されます。 ・・・迷惑駐車は他の車の燃費を悪化させます。
--	--